

中学生がいろんな職業を体験

わだい④

7月6日、「おかえり！孫プロジェクト」の一環で、「ふながたWAKU WAKU WORK」がB&G海洋センターで行われました。この事業は、中学生がこれから進路選択をしていく中で、より多くの選択肢から自分の進みたい将来を決めてもらえるよう、また、最上地域にもたくさんの職業があることを知ってもらおうと、今年度から始まりました。

当日は、建設業、印刷業や旅館業など幅広い分野から14の企業と団体がブースを構え、中学1年生と3年生の90名が参加。仕事の内容の説明を聞き、実際の仕事を体験するなど積極的に活動していました。生徒は、「普段はできない体験ができて、とても勉強になった」と話していました。

今後も町では、孫世代や若者に町や地域の魅力を伝えるとともに、舟形で暮らすということが選択肢の一つとなるように事業を展開していきます。

＜参加企業・団体＞

最上地域農業法人研究会青年部会・山形県建設業協会最上支部・自衛隊山形地方協力本部新庄地域事務所・株式会社新栄・山形航空電子株式会社・カイロプラクティック&美容カイロエステ ホット！Smile・株式会社キリウ山形・社会福祉法人舟和会・リングロー株式会社 山形支店・株式会社JPD・株式会社沼澤工務店・肘折温泉旅館組合・共栄印刷株式会社・ラッキーバッグ株式会社



JAFと協定を締結

わだい①

6月20日、町は（一社）日本自動車連盟（JAF）山形支部（鈴木寿昭 支部長）と、観光振興のための連携協定を締結しました。この協定は、町とJAFが持つそれぞれの資源と情報を有効活用することで、観光客の誘致や観光の振興を図ることを目的としています。

県内町村でJAFと協定を結んだのは舟形町が初とのこと。今後も観光情報の発信を強化し、町の良さを全国にPRしていきます。



日本一の給食で食育と郷土愛を

わだい②

6月22日、「日本一の給食食育推進事業」として、舟形小学校で1年生の保護者35名が、子どもたちと一緒に「めがみちゃん給食」を味わいました。この日はアスパラや笹巻きなど、舟形町産の食材をふんだんに使用したメニューが提供されました。子どもたちは笹をむくのにも手間取りながらも、「んまい！」と笑顔で笹巻きをほおぼっていました。

今年度で2年目となるこの事業。今後も、給食を通じた食育や郷土愛の醸成を目指し取り組んでいきます。



交通事故の危険を学ぶ

わだい⑥

7月17日、自転車交通安全教室が舟形中学校で行われました。これは舟形中学校ともがみ中央農業協同組合が主催したもので、スタントマンが自転車による交通事故を実演し、交通ルールを守る大切さを考える教室です。

自転車と乗用車が絡む事故や巻き込み事故など、交通事故の危険性を目の当たりにし、生徒たちは驚いた様子で見入っていました。生徒の一人は「自転車通学をしているので、事故に遭わないよう交通ルールを守りたい」と話していました。



練習の成果を競う

わだい③

6月24日、第59回舟形町消防団ポンプ操法大会がアユパークで行われ、20の部が出場しました。

大会は、火災消火を想定した基本動作の速さと正確さを競うもので、各部のみなさんは日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。

優勝は第6分団第12部（堀内）で、7月29日に行われる第40回最上支部操法大会に、町の代表として出場します。なお、個人賞は第6分団第12部3番員 伊藤将希さんでした。おめでとうございます。



7/18 大場輝美さん（長沢第2）
中学校に寄付



▶中学校の教育振興のため、25万円を寄付していただきました。

7/13 舟形ほほえみ保育園
サマーフェスティバル



▶園児たちが準備した縁日コーナーなどで、夏の思い出ができました。

7/8 長沢地区交流会
楽しく交流



▶約100名が参加し、ゴルフや踊りなどで交流を図りました。

7/1 内山内（第2分団管轄）
夏季非常招集訓練



▶消防団や内山町内会等が参加。万一の火災発生への備えを再確認しました。

6/21 小国川漁業協同組合
きれいな川を守るため



▶鮎釣り解禁を前に、小国川の河川清掃を行いました。

6/13 ふれあい育児の広場
はじめの会



▶保護者と子どもたちの笑顔が絶えない会となりました。